

第5章 文化財の保存・活用に関する将来像と基本方針

本市には、地理的・歴史的背景のもと、島田宿大井川川越遺跡や諏訪原城跡など、歴史文化を物語る貴重な文化財が数多く存在します。これらの文化財の多くは、地域の歴史や人々の暮らしの中で形作られてきたものです。これら貴重な文化財を適切に保存・活用するため、目指すべき将来像を掲げ、その実現に向けた基本方針を設定します。

将来像

歴史文化に親しみ、島田市への誇りと愛着を醸成するまち

目指すべき将来像を、『第2次島田市総合計画』のまちづくりの政策分野5歴史・文化・地域で示した「培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める」の趣旨に基づき、「歴史文化に親しみ、島田市への誇りと愛着を醸成するまち」とします。

本市においては多彩な歴史文化があるにもかかわらず、目標に掲げた将来像には至っていません。その要因は、文化財の調査が不十分で価値が明らかにされておらず、また、活用が進まず、その魅力を伝え切れていないことから、市民の興味・関心が広がっていなためと考えられます。

こうした問題を解決するため、以下4つの基本方針に従って課題を解消し、将来像の実現に向けて取り組んでいきます。

基本方針



1 文化財を調査します

将来像を実現するには、まず市民が地域の歴史文化を知るところから始める必要があります。そのためには歴史文化を形成する文化財を確実に把握し、その価値を理解するため情報を提供していくことが不可欠です。市では、正しい歴史文化や文化財の情報を提供していくため、官民が連携して文化財の調査に取組みます。



2 文化財を守ります

地域の歴史文化を物語る文化財は、先人により大切に守られ、受け継がれてきたものです。現代を生きる私たちは、それを後世に確実に受け継ぐ責務を持ちます。しかし、経年劣化や自然災害による損傷や滅失、さらには人口減少・流出や盗難によって散逸してしまう可能性もあります。これらの貴重な文化財を守るためにには、行政や文化財所有者だけでなく、市民が一体となって保存活動に取り組んでいくことが求められます。



3 文化財を活用します

市民が地域に誇りや愛着を持つには、歴史文化を物語る文化財に触れる機会が重要です。文化財を様々ななかたちで活用することで、より多くの市民が文化財に触れるよう取り組みます。そして、文化財に触れた市民が自らその活用の一端を担うように促していきます。



4 文化財を未来に繋ぎます

将来像の実現には、文化財の保存・活用の永続的な取り組みが求められます。次世代へ文化財を継承するため、文化財の保存・活用に持続的に取り組む所有者や団体活動を支援とともに、その実践を担う文化財行政の専門職員やその他関連人材の育成にも力を注ぎます。

基本方針のイメージモデル

